

～生産者のこだわり魅力発信～

# 自然と、農家と、食べる人とで育てていく。

～食べものを分かち合うことでジブンゴト化する。～

**LURA** food community network

氏名(団体・法人名)

**LURAの会**  
代表: 宇野俊輔

地域(農園住所)

伊那市高遠町

品目

米ぐるーぷ、大豆ぐるーぷ、野菜ぐるーぷ(年間約40種類の野菜を分配しています。)の3ぐるーぷがあります。



有機農業への思い・始めたきっかけ

子どもたちが裸足で走りまわり、摘み採った野菜を“**があぶり**”と食べる。そんな畑をつくりたい!

「体験」には「知識」では決して得ることのできない「発見」があります。その発見が食べることは“**命のルー**”だと気付かせてくれると思います。

農産物・取組へのこだわり

LURAの会は、おいしい作物を「商品として購入する方法」ではありません。会員みんながつくり手で、あくまで**出来たものをシェアする仕組み**です。(CSA:地域支援型農業)。

育てる過程に参加する(強制ではありません)ことで、たくさん採れたときは一緒に喜び、不作のときは痛みを共にします。そういった自然と関わる感覚を身近に感じることで自分たちの暮らしを見つめ直すきっかけにもなります。



## 購入できる場所、提供先

あくまでできた作物は会員でシェアする仕組みですので、一般には販売していません。まずは**会員になっていただくことが前提**です。

米ぐるーぷでは、収穫した米で餅や糰、しめ縄などもつくります。

大豆ぐるーぷでは、味噌や醤油、豆腐などもつくります。

なお、会員の仲間で立ち上げた“**加工班**”ではLURAの農産物で様々な加工品をつくっています(加工品はお分けできます)。

**facebook**:「LURAの会」で検索して頂くと、活動の様子が見られます。  
農作業を通した活動の様子は会員の子どもたちの成長の記録にもなっています。



現在、第9期の会員を募集しています。  
興味のある方は、[kagirohi@lura.life](mailto:kagirohi@lura.life)  
または 090-4713-0984 (宇野) まで御連絡下さい。



なお、このような仕組みで有機農家を目指したい方の研修も行っています。